

これから台風の季節がやってきます



～雨に対する取組と皆様へのお願い～

浸水対策の主な取組

台風や局所的な集中豪雨(ゲリラ豪雨)などによる浸水被害を軽減するための取組を進めています。

台風や集中豪雨による被害の状況

- 台風などによる大雨や、ゲリラ豪雨などの短期間でも非常に強い大雨が降ると、浸水被害が発生することがあります。

浸水対策の取組

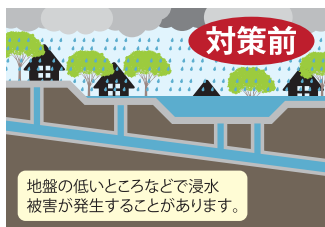
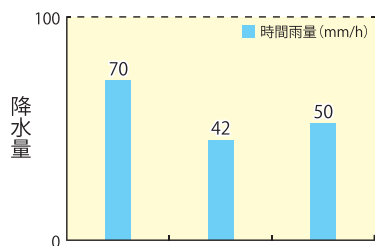
- 浸水被害を防ぐため、雨水を速やかに流す雨水管や一時的に雨水を貯めておく貯留管などの整備を進めています。

貯留管の整備による効果 [渋川・江川雨水貯留管流域]

対策前

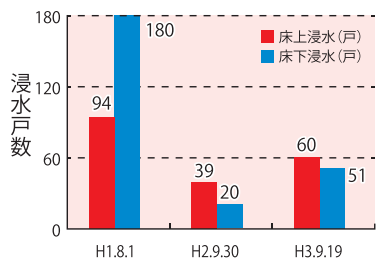


大雨により浸水したまち

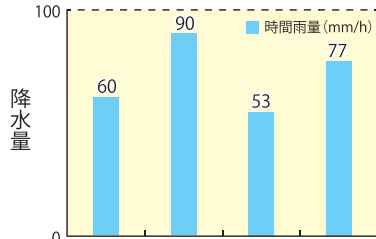


対策前

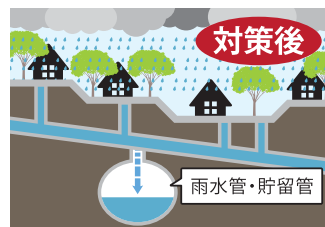
地盤の低いところなどで浸水被害が発生することがあります。



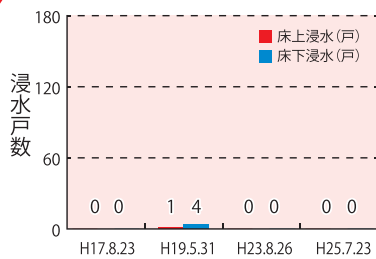
対策後



江川雨水貯留管

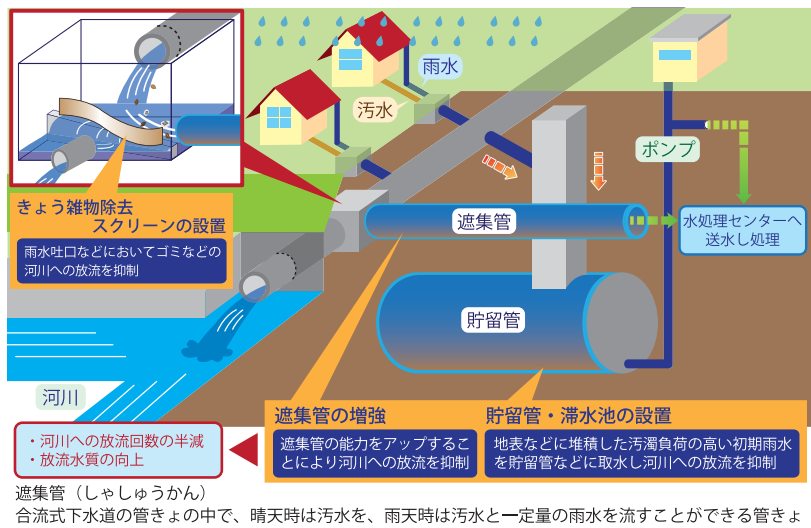


対策後



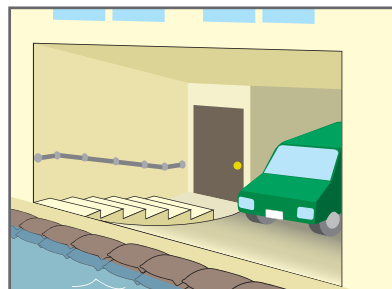
雨の時に川や海を汚さない取組

合流式下水道においては、雨天時に、雨水と汚水の混合した下水の一部が未処理のまま川や海に流されてしまうことがあるので、ゴミが流れるのを少なくする設備や汚れた水を一時的に貯留する貯留管の整備を進めています。



ご家庭でもできる浸水への備え

半地下や地下室は、大きな浸水被害が発生しやすい傾向にあります。



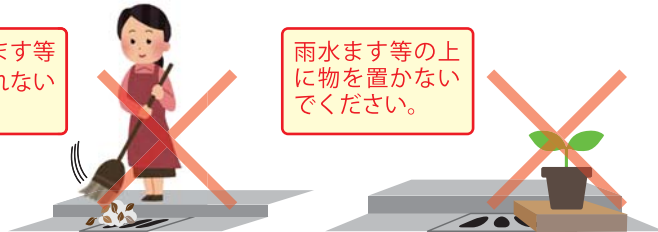
土のうなどで、地下空間に雨水が入らないように対策をお願いします。

※土のうは各区役所道路公園センターで配布しております。
(詳細は市ホームページで確認できます。)

道路の雨水ますや側溝にゴミがたまったり、物が置かれると雨水は下水道管に流れなくなり、浸水の原因となります。

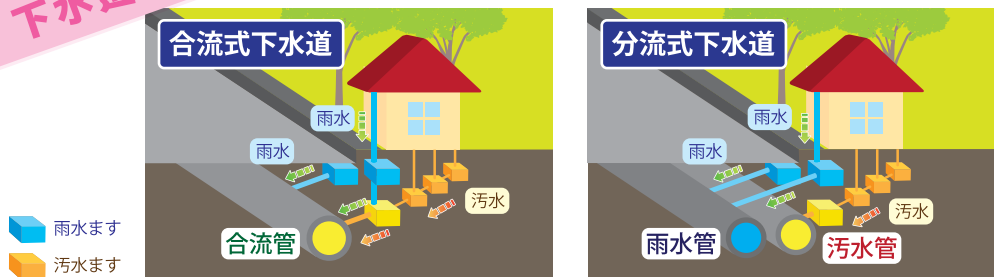
道路の雨水ます等にゴミを入れないでください。

雨水ます等の上に物を置かないでください。

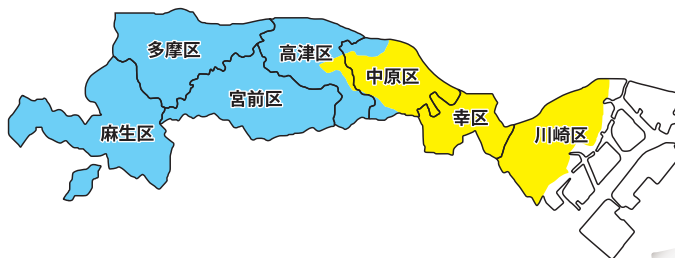


下水道豆知識

下水道には合流式と分流式があるのをご存知ですか？



- 汚水と雨水を1本の管で一緒に流す方法 (昭和6年から事業着手したエリア)
- 汚水と雨水を別々の管で流す方法 (昭和57年から事業着手したエリア)



(青色:分流式下水道区域 黄色:合流式下水道区域)